

## 会 議 録

会議の名称	令和2年度第3回上尾市地域創生総合戦略審議会		
開催日時	令和2年8月27日(木) 14:10~15:15		
開催場所	Microsoft Teams による Web 会議		
議長(委員長・会長)氏名	上尾市地域創生総合戦略審議会 会長 佐藤 徹		
出席者(委員)氏名	佐藤 徹、田谷 正克、島村 典泰、内田 富美代、平野 修一、関谷 真司 佐々木 毅彦、本田 直子、金子 一夫、新道 龍一、樋口 敦、池田 達生 長沢 純		
欠席者(委員)氏名	竹中 健司、宮内 礼子		
事務局(庶務担当)	行政経営部長 小田川 史明、行政経営部次長 松澤 義章 行政経営部次長 西林 幸泰、行政経営課長 堀部 弘幸 行政経営課主幹 本郷 美代子、行政経営課主査 東海林 智之 行政経営課主任 三浦 直人		
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果	
	1 開 会 2 会議の公開について 3 議 題 (1) 平成31年度実績に基づく上尾市地域創生総合戦略の 評価について (2) 第2期上尾市地域創生総合戦略の全体像(案)に ついて (3) その他 4 閉 会	報告・説明と質疑応答	
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者	0人
会議資料	別紙のとおり		
<p>議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和2年 9月 28日</p> <p style="text-align: right;">会長の署名 <u>佐藤 徹</u></p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 <u>佐々木毅新</u></p>			

## 議 事 の 経 過

<p>司会 (行政経営部長)</p> <p>佐藤会長</p> <p>事務局 (行政経営課長)</p> <p>会長</p> <p>事務局 (行政経営課長)</p> <p>会長</p>	<p><b>1 開 会</b></p> <p>定刻になりましたので「令和2年度第3回上尾市地域創生総合戦略審議会」を開会いたします。</p> <p>本日はオンライン会議での開催となりますが、こちらをはじめでの取組となりますので不手際もあるかと思いますが何卒ご協力の程よろしく申し上げます。</p> <p>本日の審議会でございますが条例第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がありましたので有効に成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、条例第5条第2項の規定によりまして、この後の進行は、佐藤会長に申し上げます。</p> <p><b>3 会議の公開について</b></p> <p>それでは、只今から議事の進行を務めさせていただきます。</p> <p>次第の3「会議の公開について」事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>本審議会につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針」に従いまして同指針策定後の初めての審議会において「原則公開」ということで採決されておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、事務局に確認します。</p> <p>本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p> <p>本日、傍聴者はありません。</p> <p>事務局より傍聴者なしとの報告がありましたので、会議を続行いたします。</p> <p>次に、議事の正確性を証するため議事録に署名をお願いしたいと考えております。</p> <p>議事録署名人につきましては、出席委員の中から1名会長の私より指名させていただきますと思いますがよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p> <p>会長</p> <p>事務局 (行政経営課長)</p>	<p>《異議なしの声》</p> <p>それでは、議事録署名人を指名させていただきます。</p> <p>本日の会議の議事録署名人は佐々木委員さんをお願いいたします。</p> <p><b>4 議題</b></p> <p>それでは、次第の3「議題」に入ります。</p> <p>議題(1)「平成31年度実績に基づく上尾市地域創生総合戦略の評価について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>それではご説明申し上げます。まず初めに資料の確認をさせていただきます。事前にお配りしたものと、「資料1 地域創生総合戦略評価シート(平成31年度実績)」、「資料2 第1期上尾市地域創生総合戦略の進捗状況」、「資料3 第2期上尾市地域創生長期ビジョン・第2期上尾市地域創生総合戦略の</p>

全体像(案) (第1期との新旧対照)」、「参考資料1 上尾市地域創生長期ビジョン・上尾市地域創生総合戦略の全体像(第1期)」、「参考資料2 第6次上尾市総合計画前期基本計画 施策体系(案)」がございます。過不足はございませんでしょうか。

それでは資料1をご覧ください。平成31年度の実績に対する進捗状況の総括表でございます。

まず表の見方ですが、それぞれ基本目標に対する数値目標、それから KPI と言われている重要業績評価指標を立ててございます。

表の中ほど、進捗状況というところでご覧ください。平成31年度の目標値に対して実績がどうだったかということに対する進捗状況を表しています。全体の表を見ていただいた中で進捗状況の中身でございますが、全部で23の目標数値がございます。それに対して、順調が7、遅れが14、それから平成31年度は数値として把握していないものが2ございます。

それではその中で主なものについてご説明します。初めに1ページをご覧ください。数値目標「市内法人の事業者数」です。平成31年度の目標数が6万人に対しまして、実績値といたしまして5万6,889人と、評価としては遅れでございます。今後の見通しでございますが、企業立地などにより新たな従業員の雇用が見込まれるというふうに記載しております。この企業立地というのはイオン等がオープンする予定ですので、このようなところから市内の雇用が見込まれるという様に今後の見通しを立てているところです。こちらにつきまして事前にご質問を何点かいただいております。まず、新たな雇用が見込まれるとありますが、コロナにより減少する可能性は無いのでしょうかというご質問をいただきました。こちらにつきましては、イオンのオープンが予定されていることから新たな雇用が見込まれるとしておりますが、おっしゃられるように新型コロナウイルスの影響で雇用が減少する可能性もございます。それから平成27年から平成31年まで目標に対し実績値は「遅れ」となっていますが、経過の考察では、「市内雇用が増加した」と評価している理由は何でしょうかというご質問をいただいております。こちらにつきましては、目標に対しては達していないということで遅れと評価していますが、前年度の平成30年度に比べては若干ですが数値が上振れしていますので市内雇用が増加したと記載しております。

続きまして2ページをご覧ください。KPI「法人市民税額」です。平成31年度の目標値が16億9,300万円に対し、実績値が19億2,891万円と順調としています。主に小売業等の業績好調により増額となっています。しかし、今後の見通しのところで、平成28年度の税制改正で法人市民税率が引き下げられた影響で、今年度11月以降に影響が出てくることとなっています。従って今年度以降はこの税率の引き下げの影響と新型コロナウイルスによる影響により、法人市民税額の減収が見込まれる見通しを立てております。

ページ飛びまして5ページをご覧ください。数値目標「年少人口」です。年少人口である0歳から14歳の人口の目標値が2万8,065人に対し、実績値2万7,534人と遅れとなっています。今後の見通しのところですが、引き続きワーキンググループで創出した定住促進に関する事業を着実に進めていく必要があるとしています。こちらに関しましてこのワーキンググループで創出した事業とは何かという質問を事前にお伺いしております。こちらの回答としましては、上尾版ネウボラといった子育て世代包括支援センターなどの子育て系の事業が主なものとなります。

続きまして6ページをご覧ください。KPI「出生者数」です。目標が1,650人に対しまして実績は1,513人と遅れとなっています。この計画期間中に出生者数の実績は年々減少傾向でございましたが、平成31年は目標値に対して遅れとはなっているものの、前年度の平成30年度と比べ少しではございますが増加という結果となっています。

続いて7ページをご覧ください。KPI「保育施設定員数」です。平成31年度の目標値が3,687人に対し、実績が3,585人と遅れとなっています。こちらにつきましては平成30年度まで年々順調と来ておりましたが平成31年度は遅れとなりました。主な理由としては、経過の考察にございますように平成31年度に開設を予定しておりました認定子ども園の整備が頓挫してしまったということがあります。このことについて、相手側の都合により見合わせとありますが、相手は何処なのか、見合わせの理由は何なのかというご質問を事前にいただいております。回答といたしましては、予定をしていたのは双葉台幼稚園というところで、幼稚園側から認定子ども園の申請があったところですが見合わせの理由としては相手側の都合と聞いております。

続きまして11ページをご覧ください。数値目標「転入超過の数」です。転入超過ですので転出よりも転入の方が上回ったかどうかというものでございます。平成31年度目標に対し実績は順調となっています。単年度で見ますと813人が転入超過でした。

続いて、12ページをご覧ください。KPI「土地区画整理事業により形成した住宅地へ定住した子育て世帯数」ということで、本市で実施している2ヶ所の区画整理事業により本市の中にどれだけ定住した子育て世帯がいたかという数値目標です。平成31年度は順調となっています。単年度で見ますと63世帯が定住をしたという評価です。

16から19ページにつきましては健康づくりの推進に関する数値目標でございます。こちらにつきましては、それぞれ各種がん検診等の受診者数等を目標としていますが、いずれも遅れという評価となっています。特殊な要因といたしましては、例えばがん検診の会場となるような西保健センターの改修工事をした期間がありましたので、その間検診ができなかったということ、或いは新型コロナウイルスの関係により検診を中止していた期間があったことがあります。平成31年度は例年よりも遅れになる要因があったというのがこの分野の特徴かと思えます。以上、資料1の主な内容についてご説明差し上げました。

続きまして資料2について説明申し上げます。資料2は第1期の5年間の進捗状況をまとめたものとなります。

まず一番上「1安定した雇用を創出する」です。こちらにつきましては先ほども申し上げましたが、市内法人の従業者数は減少傾向でございます。しかしながら、更に減少しているかという平成30年度、31年度は前年度から微増傾向にございます。

基本目標2「出産・子育ての希望をかなえる」、数値目標の年少人口をご覧ください。こちら目標には達しておりません。しかしながら、この計画を作った当初の推定値である何もしなかったらという予定数値よりは少し上振れしております。

基本目標3「健やかな暮らしを守り、魅力あるまちを創る」をご覧ください。数値目標「転入超過の数」です。こちらにつきましては先ほどのご説明のとおり、目標を大きく上回っております。平成31年度の状況、それから計画期間

	<p>中の5年間の状況の評価の説明は以上となります。</p> <p>事前の質問・意見書で池田委員から資料2について2点ほどご質問いただいておりますのでこちらで触れさせていただきます。基本目標2「出産子育ての希望をかなえる」というところです。すべての指標が遅れとなっていることに対して、この現状を打破する打開策などは考えているのでしょうかというご質問をいただいたところです。おっしゃられるとおり、全体としては遅れの傾向でございます。打開策といったものではないですが、まさに今回お話を差し上げているような子育て世帯に対する政策でしたり、教育の分野の政策等を継続的に実施することが重要であると考えております。</p> <p>次に、基本目標3「健やかな暮らしを守り、魅力あるまちを創る」のところで、検診受診者数等が遅れであり、それに対して何か原因があるのでしょうかというご質問をいただきました。検診につきましては、先ほど触れましたけども平成31年度は新型コロナウイルスの関係で減少したりといったことがございますが、検診をしている会場が工事をしていたりといったイレギュラーがございました。こちらにつきましても先ほどと同じように、継続して実施していくという話になるかと思えます。ただし、国保特会においては、検診を受けた人にポイントを付与するといった新たな取組を実施し始めましたので、少しずつ工夫しながら増やせていけたらと思えます。質問に対する回答も含めたご説明については以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ノイズを拾っている様なので、マイクをオフにされてない方は、オフにいただければと思います。また、資料については画面共有されていませんが、今日でなくても構いませんができれば画面で共有いただいた方が良いかと思えます。</p> <p>それではただいまの事務局の説明に対して、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
樋口委員	<p>事前に質問させていただきましたがご説明いただけなかったみたいなので改めて質問させていただきます。</p> <p>資料1の13ページにあります住環境に対する子育て世帯の満足度調査について、次回はいつ調査する予定があるのか分かれば教えてください。</p>
事務局 (行政経営課長)	<p>申し訳ございません。事前にご質問いただいているものに対する回答が抜けておりました。満足度調査は今年度実施予定でございます。</p>
池田委員	<p>資料の13ページ、住環境に対する子育て世代の満足度の経過の考察に、転入者に対するアンケート調査は一定期間ごとに実施することと記載しておりますが、この一定期間というのはどのぐらいでしょうか。</p>
事務局 (行政経営課長)	<p>今年度実施をいたします。今後は2年又は3年おきくらいで考えております。</p>
池田委員	<p>2年又は3年おきに実施する理由はございますでしょうか。</p>
事務局	<p>2年又は3年おきに実施とした明確な理由はございませんが、傾向を捉える</p>

(行政経営課長)	のが目的ですので、毎年実施する必要はないと考えております。
会長	<p>他にございますでしょうか。</p> <p>それでは、議題(2)「第2期上尾市地域創生総合戦略の全体像(案)について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (行政経営課長)	<p>それでは議題の2について説明させます。</p> <p>資料3をご覧ください。前回会議でお示ししたものにいただいたご意見を踏まえたものとなります。</p> <p>まず、前回の会議でいただいた課題を説明します。主に4点です。</p> <p>1点目は、第1期と第2期(案)の中で、引き継いだもの、新規のものといったものをわかるようにしてほしいというご意見について、資料に記号で表記させていただきました。こちらにつきましては後程説明させていただきます。</p> <p>それから2点目でございます。基本目標の3つ目のところに、「安心、安全というのがございましたが、地域防災力の向上ですとか、防災が全面にでており、他とレベル感が違うといったご意見と、魅力あるまちづくりというようなフレーズが第1期にあったのでそういった要素を入れてはどうかというご意見です。</p> <p>3点目として、総合計画にあるような健康という切り口を入れてはどうかというご指摘いただきました。</p> <p>それから最後4点目ですけれども、Society5.0の推進というのをもう少し打ち出してもいいのではないかとご意見いただきました。</p> <p>この4点について修正をしたのがお配りさせていただいた資料3です。まず表の一番上に、マークの意味を表記しております。(新)については、第2期から新しく加えたもの、(継)は第1期から継続するものといった具合です。</p> <p>その中から、新たに加えたもの、それから外したものの2つを中心に説明したいと思います。</p> <p>それ以外は基本的に文言の修正ですとか、継続するものとなります。</p> <p>はじめに基本目標の1番上、「活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」をご覧ください。重点施策「(新)勤労者・就労支援」とは就職セミナーや個別就職相談というようなものでこちらを新しく追加しました。また、外したものとして、「(外)民間事業者等の積極的な活用」ですが、市役所の業務で民間に委託できる事業数が頭打ちであること、また、民間事業者へ委託することで雇用が創出されているのかという点もございましたので第2期からは外しました。</p> <p>続きまして1番下の基本目標「魅力があり安心して暮らすことができるまちづくり」をご覧ください。こちらについて前回の審議会では「安全な暮らしを守るまちづくり」という基本目標としており、先ほど申し上げたように安全という防災のところを前面に出したものでした。それをレベル感が違うのではという意見や、第1期の魅力というフレーズを入れた方が良いのではないかとご意見を踏まえ修正いたしました。ですので、基本目標は安全というところから少しブレイクダウンして、魅力があって安心というような言い方に変更しております。内容につきましても、防災面などを重点施策というふうに上げておりますが、安全という内容も残しつつ、スポーツですとか、魅力の発信という内容も入れ、全体的に3つ目の基本目標の構成に変えています。</p>



変更する中で、青色の重点施策、「魅力の発信」、それから下から二つ目「地域防災力の向上及び、災害救助・復旧体制の整備」を第2期から新たに追加しました。この基本目標で、外したところが重点施策「安心してのびのびと子どもが育つ環境の整備」です。外した理由でございますが、後で資料1の評価シートをご覧くださいればと思いますが、上尾市で現在進めている区画整理事業のところで、環境整備をして子どもを巻き込むというような目標を立てていましたが、区画整理事業が間もなく終わりを迎えるというところがございますので、そういった意味からも第2期からは外すという判断をいたしました。

一方で新しく加えたものとして、「魅力の発信」は前回の審議会でご意見をいただき、加えました。それから、防災の部分については、平成30年度に上尾市市民意識調査というものを実施しており、その中で市民の方々がこれから市に望む施策は何かというアンケート項目がございます。その回答の中で、子育てのことや教育の質という回答がある中で、安心安全、防災といったことについても上位に回答がありました。さらに言うと、最近の災害への対策等々が問題となってございます。そういったことから、安全という切り口は、本市に寄与するだろうというふうに思っております、少しトーンは落としましたが、ぜひこの重点施策に入れたいというふうに思っております。

それからSociety5.0についてももう少し表現を出しても良いのではないかとご意見いただきました。そちらにつきましては縦に赤で表記している「横断的な視点」というところで記載しております。前回審議会では、持続可能な都市経営の後に「情報技術の活用」ということだけを書いておりました。そちらをDXということの下に注釈を書いておきますけれども、デジタルトランスフォーメーションと呼ばれているものですが、情報技術をあらゆる面で使っていくという話です。DXを推進することにより、Society5.0という世界を実現しようという内容です。Society5.0につきましても下に注釈を記載しておりますのでご参考にしてください。

資料3の説明については以上になりますよろしくお願いたします。

会長

それではただいまの事務局の説明につきましてご質問やご意見ございましたらお願いいたします。

池田委員

質問・意見書について、3つほど意見を書いて事前に提出したのですが、それは事務局で紹介していただけるのでしょうか。

事務局  
(行政経営課長)

本日は口頭で事前にいただいた質問に対するご回答を差し上げておりますが、まとめた一覧表を後日になりますがお送りさせていただきます。今この場では、池田委員からご意見ということでもいただいたものがございますので、それについてご紹介させていただきます。

まず1点目でございます。基本目標の一番上「活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」では、後継者がいなく、梨、ブドウ、野菜などの農業者への支援策を厚くとるべきではないかというご意見をいただいております。

それから2点目のご意見として、「明日を担う人が育つまちづくり」では、定住促進、子育て応援で、学校給食費の無料化、子ども医療費18歳まで無料化など、思い切った施策が必要ではないかというふうなご意見をいただいております。

<p>会長</p>	<p>それから最後 3 点目として「魅力があり、安心して暮らすことができるまちづくり」では、高齢者の増加、免許の返納などに対し、ぐるっとくんの路線拡大・増便、デマンド交通の創設といったことが近々の課題であるというご意見をいただいております。こちらに対して、どのように対応するかは回答はこの場にご用意しておりませんが、いただいたご意見としてご紹介させていただきます。</p> <p>先ほどの説明の中にもワーキンググループの話が出てきたと思いますが、かつて「あげお De 住まいる推進グループ」という庁内の職員によるワーキンググループがあり、そこで定住促進事業については検討がなされ、それが事業化されたのが平成 30、31 年度だったと思います。報告書も、公開されているわけですが、結果が次の第 2 期総合戦略にどのように活かされているのか、実際にその報告書の巻末にも、結果を次期総合戦略に活かしていきますと謳っておりますが、その辺りが見えてこなかったと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (行政経営課長)</p>	<p>仰られるとおり、報告書までまとめたものがございます。この中に個別具体的な取り組みについても記載しております。先ほど池田委員からものご質問にもありましたとおり、このワーキンググループでどういうことやったのか、提案した事業があるのという話がありました。事業としては、子育て世代の包括相談センター、ネウボラと言われておりますけれども、そういうものでしたり、或いはハイリスクの産婦に対する産後ケアですとかといった事業があります。これらに対して、実際にその実施した事業が第 2 期総合戦略にどのように生きてきているのか見えづらいというご質問かと思っております。</p> <p>資料 1 の 6 ページをご覧ください。6 ページは子育てしやすいまちづくりというところで出生者数を KPI で掲げている分野でございますが、表の中ほどに「主な総合戦略実施事業」という項目があります。こちらが先ほどワーキンググループから提案されたような事業をもちろんそれだけではございませんが記載しているところです。ですので、その 1 つ 1 つの事業に対して、いい悪いという評価をここからは読み取れませんがそれらをやった結果が例えば出生者数が遅れている、順調だというように反映されているという見方となります。会長からのご質問の回答になっているかどうかは分かりませんが、1 つ 1 つの事業に関しての評価はこちらから読みとれませんが、それらの事業をやった結果として、1 つの目安である KPI がこうだという評価となっています。</p> <p>一方で、個別の具体的な事業を継続するかどうかにつきましては、総合戦略とは別で事務事業評価をやっており、事業単位でその事業をどうするかという判断をしております。それらを予算要求時毎に前回事業評価の結果もあわせて検討しております。総合的な評価というのはできていないのは大変恐縮ではございますが、そういうご理解をいただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>個々の事業の評価も重要ですがそこから見えてきた次の施策への展開と言いますか、もう少し大所高所から見た場合の戦略の変更といったものがあるのかなのか、あるとしたら次期戦略案の中にどのように盛り込まれているのかと思ったものですから質問させていただきました。</p> <p>他ご質問やご意見ございませんでしょうか。</p>



<p>田谷委員</p>	<p>本日はこの数値目標であるとか、それから KPI の案についても記載されておりますけど、これも含めてご意見なりご質問いただくということによろしいでしょうか。</p> <p>「明日を担う人が育つまちづくり」ですが、ここは第 1 期の総合戦略から名前を変えて修正して継続とのことで大事な項目だと思うのですが、先ほどご報告いただきました数値目標である年少人口のところ、また都市整備のところ、減少傾向ではあるが推計人口よりも増えており、全体的には良かったというお話でしたけれども、国ですとか県全体ですとかそういったところと比べると減り具合は良かったのか悪かったのか、これが良かったのであればこのままこの戦略の普及をしていけば良いと思いますが、もし国や県よりも大きく違っていたとすると、もう一つぐらい変えていかなければいけないのではないかという気もするのですがいかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (行政経営課長)</p>	<p>資料 2 をご覧ください。この資料 2 の一番下に参考ということで、平成 31 年度というふうに書いてある部分です。この表は何かというと、まず 1 行目に書いてある第 1 期の推計人口というのとその下にある第 1 期の将来目指すべき人口、それから令和元年 10 月 1 日現在の住基人口があります。見方としては、まず第 1 期の推計人口というのは、第 1 期の総合戦略を作った平成 26 年当時、何も施策を打たないでいくと、それぞれ年少人口、生産年齢人口、老年人口がどうなるかという推計となります。それでは困るので、総合戦略で手を打って、上尾市としては今後これぐらいの人口を目指しますというのが 2 行目に書いてある第 1 期将来目指すべき人口です。それに対し、結果はどうなったかというのが 3 行目の令和元年度 10 月 1 日現在の住基人口にあたります。これらを比べていったときに、年少人口の列をご覧くださいと、何もしなければ 27,430 人に対して、総合戦略で手を打って 28,065 人にしますという目標を立ててました。それに対して実際は 27,534 人と、数字だけ見てみると目標としていた目指すべき人口には 1,500 人ほど足りていないですが、何も手を打たない場合の 27,430 人よりはやや上向きというように見方ができるかと思えます。ですので先ほどの説明で推定よりはよかったという説明をさせていただきました。今田谷委員からございました、このトレンドが全国或いは県と比べてどうだったかというのは、この場でデータを持ち合わせておりませんので、持ち帰らせていただき、おっしゃるとおり、全国或いは県全体と比べてどうだったかというのを見て、加速させる部分なのかどうなのかという判断をしたいと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>そのデータを是非ご用意お願いします。 他にご質問ご意見ございますか。</p> <p>関連ですが数値目標で資料 3 の全体像 (案)、真ん中より左側の方に令和 7 年度の数値目標が掲げられていますが、今話題となっていた基本目標 2「明日を担う人が育つまちづくり」に対する数値目標ですが、年少人口と書いてありますがこちらに出生者数というのはここには書かれてないのですがこれは削除したということでしょうか。</p>
<p>事務局 (行政経営課長)</p>	<p>出生者数は大事な指標だと思っております。この分野については第 1 期を踏襲しておりますので、指標として落とせる予定もないので、持ち帰らせて</p>

会長

いただき確認させていただきます。

関連ですが前回申し上げたことでもありますが、要するに総合戦略ということで、戦略ですので最上位の目的なり目標があり、それを実現するための中間的な目標があり、さらにその中間目標を達成するための個々の政策手段というのがあると思います。そういう一連の因果関係の構造を持ったロードマップといたしますか、ストーリーがあつてそれが可視化されていれば、市民の皆様にもわかりやすく指標とする時も役に立つのではというような趣旨の発言をさせていただきましたが、その時に私個人の考えなのかもしれませんが、この基本目標の3本柱が同列なのかどうかというところです。要するに今、3つ挙げている中のその基本目標の2つ目の部分「明日を担う人が育つまちづくり」というのが、特に3つの中でも主軸になるような目標ではないかと感じております。なぜかと言いますと、もともとこの地域創生、総合戦略は、内閣府、国が地方創生総合戦略というのを作ったことが発端となっており、全国の地方公共団体に対して総合戦略を作るようにと、上尾市の場合は地方という言葉を使わずに地域という言葉を使っているわけですが、地域創生総合戦略の背景には資料3の左上に書いているように、人口減少とか、少子高齢化の進行というようなことが背景にあるわけですから、そうすると年少人口をいかに減らさないようにするかとか、出生者数の話であるとか、それから定住促進といったものがおそらくこの地域創生総合戦略のコアになるんだろうというふうに考えられるわけです。そのための例えば産業であつたり雇用であつたり、或いは幅広い意味での住環境整備とか防災というのがついてくるだろうというその辺りの戦略が並列に書かれてあると見えづらいなというのがあります。私からすると次期総合計画のある種の部分をピックアップして寄せ集めたという感じが否めないなというところがございます。それが1点目です。

また、本日は目標値に関しては、設定の根拠とかそういったものはあまり議論しなくてもいいということですか。数値目標との実績の対比で、目標がどれだけ達成ができたかどうかという話をするようになるかと思えます。結局その数値目標が高ければ当然その目標達成率というのはなかなか達成度が低くなるわけで、相対的に低い目標だと達成しやすくなります。ということはその目標値、数値目標の考え方、なぜその目標水準にしたのかといった政策的な議論があつてしかるべきかと思うんですが、本日はそこまで踏み込んでご説明もなかったので次回以降かなと思ったんですけどそういう理解でよろしいですか。

事務局  
(行政経営課長)

1点目についてですが、私どもも確かに並列で考えておりますが、頭のどこかではやはり核になるところは、資料3の真ん中の「明日を担う人が育つまちづくり」のところが一番ダイレクトに定住促進に繋がるという様に私どもも思っております。そこを支える或いはぶら下がっている、そこをさらに加速させるような要素として、雇用の話ですとか魅力ですとか、安心・安全とかもついてくる話だと思います。第1期の時に今と同じような形で作っておりますが、どこがコアなのか、見せ方の話になるかとは思いますが、どういうふうに作る時に工夫できるかというのは持ち帰らせていただければと思います。数値目標の根拠ですとか、今この場で議論できるかということについて、数値目標を立てた理由、或いはこれからこうなるといいなというロジック

会長	<p>クについて、本日は説明する予定がございませんでした。後日、その KPI をつけた意図といいますか理由も含めて委員の皆様にはお示しさせていただきたいと思っておりますのでご理解いただければと思います。</p> <p>KPI も評価の時に重要ですが、本日はこの KPI の議論は深くしないということですが、ざっと見た感じでは、例えばアグリサポーター数とかを見ると、これは農政課担当の事業レベルの成果指標ではないかなといったことがございました。</p>
事務局 (行政経営課長)	<p>その他ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。 それでは議題の (3) 番その他でございますが、事務局から何かございますか。</p> <p>その他ということで3つございます。 1 点目につきましては、先ほど途中で申し上げましたとおり、ご質問いただいたものに対する回答です。こちらは口頭で申し上げましたが、改めて一覧表にしたものを送付させていただきたいと思っております。 2 点目でございます。今、佐藤会長からお話があった、数値目標、或いは KPI の話でございます。こちらにつきましては、後でこちらからご説明資料を差し上げますが、この資料3 をご覧になっていただいて、KPI に示されている例えばアグリサポーター数は事業レベルの内容であり KPI には向かないのではないかとといったことなど、何か気づくようなことがありましたらメールでも何でも結構でございますのでご意見を賜りたいと思っております。</p>
会長	<p>その他についてご質問、ご意見等ございませんでしょうか。 なければ、これで議事を閉じさせていただきます。 では進行事務局にお返しいたします。</p>
司会 (行政経営部長)	<p><b>5 閉 会</b></p> <p>皆さんどうもありがとうございました。こちら初めのことで、手際が悪いたいことがございまして誠に申し訳ございませんでした。活発なご議論いただきありがとうございました。 それでは最後に長沢副会長からのごあいさつをお願いします。</p>
長沢副会長	<p>様々なご意見いただきまして大変にありがとうございます。慎重審議大変ありがとうございました。 第3回上尾市地域創生総合戦略審議会を以上で終了します。どうもありがとうございました。</p>
	以上